

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~3日	8月 ~10日
カンピロバクター	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	10	8
病原性大腸菌	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	28	22
腸管出血性大腸菌	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	0	0
サルモネラ	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	2	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	0	0
ロタウイルス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0
ノロウイルス	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第32週(8月4日~8月10日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7				2	2	1	2
三類	8	腸管出血性大腸菌感染症	8				3			5
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1							1
		レジオネラ症	2					2		
179		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					2		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	2							2
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	7	2				4		1
		百日咳	166	12	69	17		37	17	14

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年32週(8月4日～8月10日)

■コメント

1 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.50人と、増加しています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.09人の報告がありました。全国的に増加傾向であり、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

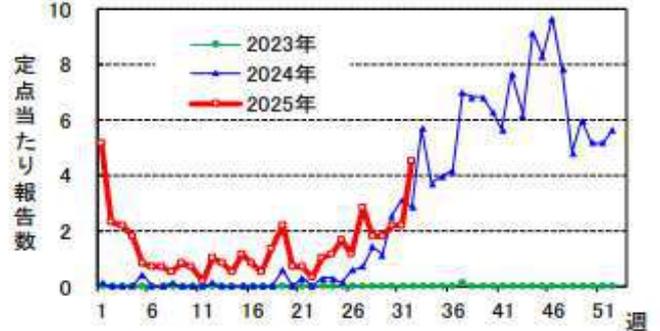
3 伝染性紅斑

定点当たり3.91人の報告があり、多い状況が続いています。

4 RSウイルス感染症

定点当たり0.77人と、増加傾向です。

マイコプラズマ肺炎の流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減	
														急増減	増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1889	53.97			⇒	小児科	突発性発しん	3	0.14	0.35			急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	2	0.06	0.14				ヘルパンギーナ	28	1.27	0.58	⇒		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	108	3.09			⇒		流行性耳下腺炎	-	-	0.02			微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	17	0.77	1.74		↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03			横ばい	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	8	0.36	0.20				流行性角結膜炎	7	0.88	0.25				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.45	0.77		⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	96	4.36	2.16		⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	水痘	5	0.23	0.05				マイコプラズマ肺炎	27	4.50	0.57		↑		
	手足口病	10	0.45	3.28		⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	86	3.91	-		⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	77	80歳代、80歳代・市外
4	レジオネラ症	2	23	50歳代、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	9	80歳代・2人
5	後天性免疫不全症候群	1	4	30歳代・感染者・推定感染地域: 国外
5	水痘(入院例に限る)	1	3	70歳代
5	梅毒	4	87	40歳代・2人、50歳代・2人
5	百日咳	37	756	10歳未満・11人、10歳代・17人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・3人、50歳代・1人、60歳代・1人、70歳代・1人